【実践事例１】　　1-36「言語活動」 ニュース　No.428

「“字” を変えると人生はうまくいく！」

国語　学級活動　総合（生活・キャリア）

- 実施日　　令和３年３月６日（土）
- 実施校　　墨田区立第二寺島小学校　６年生（86 名）
- 講　師　　筆跡診断士　小山田　香代 氏
- 内　容　　①「木・口・子・村・目」の５つの字をふだん通りに書き、隣どうしで見比べてみる。
  ② 希望者が前に出て、その字を黒板に書く。
  ③ 講師がその字を診断・分析・解説し、どのように気を付けて書き換えたら、生活が改善でき、目的が達成できるようになるかについて助言する。

【児童の感想文から】

- 僕はいつも何も考えずに字を書いていましたが、今日の授業で、字でその人の性格やその時の気持ちが分かり、字を少し直すだけで成績が上がるということを知り、僕も普段から今日習ったことに気を付けて、字についてよく考えて書いていきたいと思いました。
- 字はその時の気持ちで書き方が変わるということが分かりました。そして、その字からどんな気持ちを持っているか分かるのもすごいと思いました。字は、「ゆっくり」、「ていねいに」書くといい字を書くことができ、集中力や成績アップすることが分かりました。
- 授業を通して自分ももっと丁寧に字を書こうと思い、前の書き方から少し変えました。自分でも少し字がうまくなった気がして嬉しかったです。
- いつもはてきとうに字を書いていたけど、今回の授業を受けて、ちゃんと字を書こうと思いました。僕は名前の「飛」がきらいだったけど、今回の授業を受けて好きになりました。そして、授業を受けた後は前よりもきれいになったので、字に気を付けるだけでうまくなることが分かりました。これからは今日学んだことを生かして、もっとていねいに字を書いていきたいです。
- 今日の授業は心理テストをやっているような感じで、字をきれいに書くという大切さを知りました。どうしたら字の書き方で人の性格が分かるのかとても不思議に思いました。そして、今日、絶対に家族の字を確認したいと思いました。
- 今まで僕の漢字の書き方はきれいに書けるのに、どうしても早く書いてしまいうまく書けませんでした。しかし、今日の授業を受けて、漢字の書き方だけで性格が変わるってすごいなと思いました。今まで漢字が嫌いだった僕は、漢字に興味をもつようになりました。